



新 着 資 料 案 内

2023年5月

情報ライブラリーで新しく受け入れた資料の一部を紹介しています。
資料の検索は情報ライブラリーのホームページからできます。
貸出・予約など、利用方法についてはお問い合わせ下さい。



情報ライブラリーホームページ →

<図書> 2023年4月までの受け入れ分です

タイトル	著者	出版者	出版年月	請求記号
1980年、女たちは「自分」を語りはじめた フェミニストカウンセリングが拓いた道	河野貴代美	幻冬舎	2023.3	146.8 カ
ママとマハ パレスチナに生きるふたり	高橋美香文・写真	かもがわ出版	2023.1	K227.9 タ
ダイアナ妃ルックブック メッセージを秘めたファッション史	エロイーズ・モラン	グラフィック社	2022.10	289.3 モ
「くうき」が僕らを呑みこむ前に 脱サイレント・マジョリティー	山田健太, たまむらさちこ 作	理論社	2023.1	K311.7 ヤ
さらば、男性政治	三浦まり	岩波書店	2023.1	312.1 ミ
パワハラ上司を科学する	津野香奈美	筑摩書房	2023.1	366.3 ツ
ジェンダー平等社会の実現へ 「おかしい」から「あたりまえ」に	杉井静子	日本評論社	2023.2	367.2 ス
田嶋先生に人生救われた私がフェミニズムを 語っていいですか！?	田嶋陽子, アルテイシア	KADOKAWA	2023.2	367.2 タ
父ではありませんが 第三者として考える	武田砂鉄	集英社	2023.1	367.3 タ
97歳母と75歳娘ひとり暮らしが一番幸せ	松原かね子, 松原惇子	中央公論新社	2023.2	367.75 マ
性をはぐくむ親子の対話 この子がおとなになるまでに	野坂祐子, 浅野恭子	日本評論社	2022.12	367.99 ノ
家族でそなえる防災・被災ハンドブック イラスト・図解でまるっとわかる!	天野勢津子作・絵	イースト・プレス	2023.1	369.31 ア
ひとり親のエンパワメントを支援する 日韓の現状と課題	神原文子, 田間泰子編著	白澤社	2023.2	369.41 カ
すきまから見る 「不登校」への思いこみをほぐす	林千恵子	東洋館出版社	2023.1	371.42 ハ
ユースワークとしての若者支援 場をつくる・場を描く	平塚真樹編	大月書店	2023.2	379.3 ヒ
女性の発達障害 困りごとにどう向き合うか	司馬理英子監修	講談社	2023.2	493.76 シ
生理の話 中高生や社会人のみんなに聞いてみた	池田亜希子	ペリかん社	2023.1	K495 イ
ピンクとブルーに分けない育児 ジェンダー・クリエイティブな子育ての記録	カイル・マイヤーズ	明石書店	2022.10	599 マ
草間彌生、最新案内。 Casa BRUTUS 2023年3月号	マガジンハウス編集部編	マガジンハウス	2023.2	702.16 マ
シニア女性映画祭の10年 2012-2021	シニア女性映画祭編	シスターウェイブス	2023.3	778.2 シ
黄色い家	川上未映子	中央公論新社	2023.2	913.6 カ
セクシャル・ルールズ	坂井希久子	PHP研究所	2023.3	913.6 サ
つる子さんからの奨学金	まはら三桃作	偕成社	2023.3	K913.8 マ
食べるたのしみ 田辺聖子のエッセイ	田辺聖子	中央公論新社	2023.1	914.6 タ
良妻の掟	カーマ・ブラウン	集英社	2022.12	933.7 プ

◎新型コロナウイルス感染予防対策のため、本やDVDを触ったあとは手洗い・消毒を心がけてください。



5月 新着資料ピックアップ



1980年、女たちは「自分」を語りはじめた フェミニストカウンセリングが拓いた道

河野貴代美 著 / 幻冬舎 / 2023 / 146.8カ



図書

フェミニズムの視点から女性が語ることを促し、社会の変化を後押ししてきたフェミニストカウンセリング。その理論と実践を紹介し、エンパワーメントの歴史をひもとく。巻末に上野千鶴子との対談も収録。

ママとマハ パレスチナに生きるふたり

高橋美香 文・写真 / かもがわ出版 / 2023 / K227.9タ



図書

分離壁が造られ土地を奪われたビリン村に暮らすバスマ(ママ)と、たび重なる軍事侵攻に苦しめられているジェニン難民キャンプに暮らすマハ。「いつかいつしよにお茶を飲もう」という願いを胸に、パレスチナで懸命に生きる女性たちの暮らしを写真とともに伝える。

父ではありませんが 第三者として考える

武田砂鉄 著 / 集英社 / 2023 / 367.3タ



図書

「子どものいないあなたにはわからない」と言われるけれど...父ではない著者が、第三者の立場だからこそ見えてくる世の中で語られる「普通の家族」に対する違和感について考える。

シニア女性映画祭の10年 2012-2021

シニア女性映画祭 編 / シスターウエイブス / 2023 / 778.2シ



図書

「高齢女性の多様な生き方と生きる輝きをスクリーンで見せよう！」という思いから、2012年にスタートしたシニア女性映画祭10年間の記録。これまでの映画祭チラシを紹介するとともに、映画やトーク者との出会いを語る。

つる子さんからの奨学金

まはら三桃 作 / 偕成社 / 2023 / K913.8マ



図書

女子ゆえに進学に苦労した曾祖母つる子は、ひ孫のわかばと樹に奨学金をだすという。ただし、そのためにはひとつ条件があって...。部活との両立、親からのプレッシャーに悩みながらも、自分の人生を考えていく物語。

シモーヌ 雑誌感覚で読めるフェミニズム入門ブック

Vol.6

現代書館 / 2022.6

【特集】 インターネットとフェミニズム
私たちの空間を守る

＼ 貸出できます ＼



雑誌

雑誌バックナンバーは、
予約・貸出ができます。
最新号は館内閲覧のみです。

ドーンセンター情報ライブラリーNEWS



特別展「竹中恵美子文庫」

女性労働の研究者であり、ドーンセンター館長(2001-2007年)を務められた竹中恵美子さんの蔵書や研究資料などを、その業績とともに紹介する特別展示です。

- 日 時 : 5月13日(土)~28日(日)
- 場 所 : ドーンセンター2階 情報ライブラリー書庫スペース

5月1日はメーデー。
情報ライブラリーでは「労働」をテーマに展示やイベントを行います。



5月のテーマ展示

「女性と労働 これまでとこれから」

5月のテーマ展示は「女性と労働」です。
働く女性の割合は増えても、経済的な自立やキャリアを継続することが難しいのが現状です。
女性と労働について、男女共同参画の視点から考える資料を紹介します。

パネル展示

「28歳のはたらく私」

1965~2005年まで各年代のはたらく女性の実情を表現したパネルを展示します。

[パネル制作]
国立女性教育会館女性アーカイブセンター(2015年)

イベント案内

女性の居場所づくり応援!ブックサロンときどきシネマ



<映画の日> 5月14日(日) 14:00~16:00

上映作品 「明日へ」 (プ・ジョン監督/2015年/104分)

- 対 象 : 本や映画に関心のある女性
- 定 員 : 15~20名(申込先着順・予約制)
- 参加費 : 無料
- 申込方法 : 情報ライブラリーカウンターまたは電話

<あらすじ>

入社5年目でようやく正社員登用が決まったレジ係ソニ。しかし突然、非正規雇用者全員に解雇通達が下される。ソニと同僚たちは労働組合を結成し、職場を取り戻そうと奮闘するのだがー。大型スーパーの従業員が長期間職場を占領した韓国の事件をもとに映画化。女性従業員たちの生活(いのち)をかけた510日間の闘いを描く。

ドーンセンター情報ライブラリーは、女性関係情報の専門情報センターです。女性問題の解決や男女共同参画社会の実現をめざすさまざまな活動を情報でバックアップするために、図書・行政資料・雑誌・グループ資料・視聴覚資料・各種データなどを広範囲にわたって収集しています。

貸出・返却について

- 貸出は1人につき
図書・雑誌・行政資料は15冊3週間
DVDは3点2週間まで貸出できます。
- 返却は情報カウンターにお返しください。
閉館しているときは1階立体駐車場前の
ブックポストをご利用ください。

開室時間・休室日

- <火～土> 午前9時30分～午後9時30分
- <日・祝> 午後9時30分～午後5時
- <休室日> 月曜日（祝日・振替休日を除く）
毎月最終火曜日、年末年始、
特別資料整理期間

※変更が生じる場合はドーンセンターHP
およびSNSにてお知らせします。

女性にも男性にも役立つ情報が
いっぱいのお書室です！



ドーンセンター情報ライブラリー

<TEL>06-6910-8616 <FAX>06-6910-8775

<所在地>〒540-0008 大阪府中央区大手前1-3-49

ドーンセンター2階(大阪府立男女共同参画・青少年センター)

<HP><http://www.dawncenter.jp/>

<アクセス>

京阪「天満橋」駅、Osaka Metro(旧大阪市営地下鉄)
谷町線「天満橋」駅1番出入口から東へ約350m。
JR東西線「大阪城北詰」駅2番出口から西へ約550m。
大阪シティバス(旧大阪市営バス)京阪東口からすぐ。



ドーンセンターHP

